

優良種苗の安定供給による花き等の高品質・高付加価値化

事業名：経営構造対策事業（平成12年度認定）
 地区名：愛知県岡崎市岡崎地区
 事業主体：岡崎市（新技術活用種苗等供給施設）
 あいち三河農業協同組合（複合経営促進施設）
 管理主体：岡崎市なす栽培施設利用組合（複合経営促進施設）
 岡崎市いちご高設栽培施設利用組合（複合経営促進施設）
 施設名：新技術活用種苗等供給施設 5棟1,391㎡（H12・13）
 複合経営促進施設 12棟13,196.4㎡（H13・14）
 事業費：428,009千円（国費：207,650千円）

1. 各組織の概要

| 組織名 | 岡崎市なす栽培施設利用組合 | 岡崎市いちご高設栽培施設利用組合 |
|-------|--|------------------|
| 構成員 | 4名 | 8名 |
| 設立年月日 | 平成14年9月1日 | 平成13年8月10日 |
| 業務内容等 | 栽培技術に関する総合的研究及び普及栽培施設による苗の生産と供給に関すること | |
| 連絡先 | J A あいち三河営農部営農課 0564-55-2992 http://www.ja-aichimikawa.or.jp | |

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

花きや果樹栽培においては、種苗の確保は各農家が独自に行っており品質と供給量にばらつきがあった。

そのためコストの低減や高品質・高付加価値化による競争力の強化のため、優良種苗の供給体制の確立が求められていた。

一方、いちご及びなすの生産農家の中には規模拡大による経営の安定を図る農家がいるものの、初期投資に躊躇していた。

(2) 取組概要

平成12・13年度に経営構造対策事業により整備した新技術活用種苗等供給施設の整備により、いちご等のウルズリ-苗、洋蘭の無菌採取苗等の優良種苗の安定供給体制が整い、地域農家のコスト低減や高品質・高付加価値化農産物の生産につながっている。

また、平成13・14年度に複合経営促進施設により整備した（なす・いちご栽培）を意欲ある農家にリースすることにより、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援しているところである。

このような取り組みの結果、事業実施4年度目にして認定農業者が31名から65名と大幅に増加したところである。

現在、優良種苗の安定供給による、高品質・高付加価値化をさらに進めるとともにリース参加者を中心とした高収益のなす及びいちご栽培による担い手の確保等を推進することにより、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

| 認定農業者の育成 | | | | | 担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha） | | | 遊休農地の解消 | |
|------------|-----------|------------|---------------|---------------|-------------------------------------|------------------|------------|-------------|------------|
| 計画時 （人） | 目標 （人） | 増加率 （%） | 市町村目標 合（%） | 地区目標 割合（%） | 計画時 | 目標 | 増加ポ イント | 計画時 （ha） | 目標 （ha） |
| 31 | 50 | 161.3 | 1.7 | 1.7 | (15.9%) 482.0 | (32.9%) 998.0 | 17.0 | 0.0 | 0.0 |

(2) 地区選択目標

| 生産費の低減（ラン） | | 生産費の低減（観葉植物） | | 労働時間の短縮（いちご育苗作業） | |
|-------------|------------|--------------|------------|------------------|------------|
| 計画時（千円/10a） | 目標（千円/10a） | 計画時（千円/10a） | 目標（千円/10a） | 計画時（hr/10a） | 目標（hr/10a） |
| 900 | 828 | 500 | 466 | 566 | 335 |

整備施設

種苗供給施設内部



複合経営促進施設内部

